

私たちは自然を愛し人を愛し街を愛します

JA宮崎中央

めぐみ

Nokyo Dayori JA Megumi

6

2020 June

No.280



自己改革について

第23回 通常総代会

JAに対する意見・要望 Q&A

JA宮崎中央産

旬

fresh お届け!!

はびすのわ・住吉支店

頑張る人には福が来る

がんばり屋

NO.28

マンゴー生産者 湯地 泰生さん
ご家族

光に向かって 力強く



デザイン・製作 ● 吉野花壇（代表） 吉野恒男



花き生産者の方々も様々な種類の花を育て、たくさんの人たちへ届けてくれています。

花材

・ヒマワリ (F1 サンリッチ UP フレッシュオレンジ)
上向き水平に開花します。アレンジやブーケに最適です。

今回は青空に向かって元気に咲くヒマワリを撮影しました。コロナウイルスのニュースや梅雨時期の重い雰囲気を一気に吹き飛ばしてくれる、そんな1枚を目指しました。



花ごよみ
水無月

・目次

- 4 自己改革について
- 6 第23回通常総代会
- 8 JA に対する意見・要望 Q&A
- 14 JA 宮崎中央産の旬をお届け!!
- 18 畜産部だより
- 21 頭の体操

頑張る人には福が来る
がいにばり屋
NO. 28



湯地泰生さん

宮崎市青島のハウスで撮影の、
ご協力を頂いた湯地さんご家族。
泰生さんは、宮崎市木花のハウ
スと2か所で妻・美保さんとと
もに美味しい完熟マンゴーを目
指します。

泰生さんは両親のもとマン
ゴーの生産を始めて17年になり
ます。4月中旬、青島のハウス
ではたくさんマンゴーが実り、
収穫の忙しい時期を迎えました。
今年は糖度も高く、立派なマン
ゴーができたそうです。

今までマンゴーを育てていて
嬉しかったことは、自分のマン
ゴーを食べた方々に笑顔で美味

しいと言ってもらえたとき。マ
ンゴーの収穫期が終わると家族
での釣りが楽しみの1つだそう
です。

泰生さんと美保さんは「何年
もマンゴー作りをしてきました
が、毎年勉強になることばかり。
今年は満足!!って納得する年は
正直一度もないですね。ベテラ
ン農家の先輩方にアドバイスを
受けながら頑張っています。」
と話します。そんな泰生さんも
若手生産者による勉強会では会
長を務め、次世代へのマンゴー
生産者指導にも力を入れます。

コロナウイルスの影響も少な
からず感じると話
しながらも、今後
はハウスの拡大を
目指し、収量を増
やすことはもちろ
ん、まだまだ美味
しいマンゴーをた
くさん作っていき
たいと意気込みを
話しました。



マンゴー部会の新はっぴを着て気合い十分です！

自己改革について

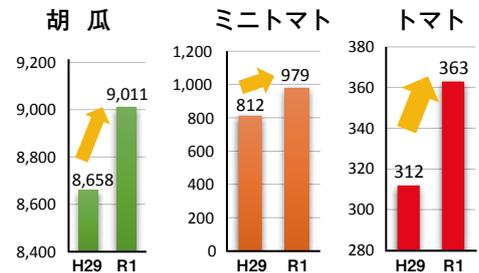
「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

1 契約的取引の拡大と有利販売対策

販売

- ファン拡大事業による管内農産物のPR活動強化
- 消費地量販店での試食宣伝販売回数
年間: **146**回 (関東76回・関西31回・中京16回・九州21回・海外2回)
- 直売所の販売強化とイベント実施による集客力向上
- 式部の里 販売高 年間 **2億9,917**万円 ●直売所イベント実施回数 年間: **31**回
- 新品目の提案取組み
- 市場・消費者ニーズの新品目取組み (加工ばれいしよ、甘藷紅はるか・加工にんにく)
- 経費抑制及び効率的輸送の取組み
- 海上コンテナ・JRコンテナの利用拡大 (青果物県内JAグループ コンテナ利用シェア**63.8%**)
- 営業販売専門部署による販売強化
- 市場・販売先との年間販売戦略的商談回数
年間: **106**回

契約数量の拡大 (単位:トン)

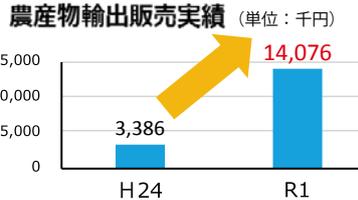


- 営業販売担当による部会会合への参加 (情勢報告及び部会要望の聞き取り)
年間: **359**回 (野菜208回、果樹104回、花卉47回)

2 農畜産物ブランド強化対策

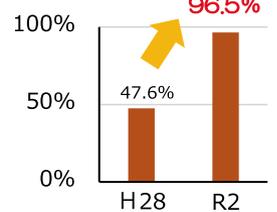
営農 畜産

- 宮崎県版GAPの拡大
- 部会、品目の拡大
部会: **13**部会 (施設野菜10部会、露地野菜3部会)
果樹: **8**品目 花卉: **1**品目
- 早期米コシヒカリJA独自販売
H30年産: **360**トン → R1年産: **927**トン 前年度比 **257%**
- JGAPお茶生産者5名取得
- 産地交付金(水田活用直接支払交付金)を活用した新市場開拓米(輸出用米)の取組み
H30年取組み: **45**トン
R1年取組み: **82**トン



- みやざき中央畜産物のブランド確立
- Aコープ各店舗や関東・関西圏でのPR活動 年間: **22**回
- 東京オリンピック・パラリンピックを意識した東京食肉市場への宮崎牛販売展開
- 子牛購買者への誘致活動
県内: **42**件 県外: **28**件
- 特定疾病(BL)の無い母牛群の構築
- 質・量・うまみを兼ね備えた種雄牛の造成
- 主な管内生産種雄牛
「清正秀」「富久竜」「第5安栄」「勝光美」「二刀流」

市場上場雌子牛のBL検査率 (次世代雌牛)



令和元年度 事業分量配当支出について

- 1 生産資材 ■肥料、飼料、農薬及び一部資材の供給金額に対し、**2.5%**の戻し
- 2 燃料 ■木質ペレットの供給数量に対し、**3円/kg**の戻し
■営農用軽油の供給数量に対し、**3円/L**の戻し
■営農用重油の供給数量 (対象期間: R1年6月1日~R2年1月31日) に対し、**3~5.5円/L**の戻し
- 3 畜産 ■肥育生産に伴う子牛導入頭数に対し、**25,000円/1頭**を支給

振込予定日: 令和2年5月7日 (木) 総額(税込) **191,079,982円**

組合員との徹底した話し合い

地区別JA座談会や支店代表者会及び組合員組織会等における組合員とJA役職員の徹底した話し合いの場の創出

令和元年度
常勤役員出席回数
延べ**586**回

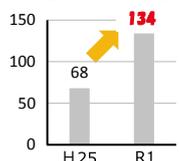
3 産地基盤の維持強化の取組み

営農 畜産

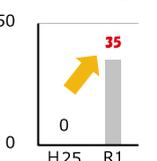
- 国庫補助事業(産地パワーアップ事業他)
- H28~R1 事業総額 182件 44億8,000万円
- 施設園芸セーフティネット構築事業 (重油、灯油の補てん事業)
申請者数: **1,674**名 JAによる掛金立替: **4億5,000**万円
- 水田維持に向けたプロジェクト
関係機関と連携し、農地流動化対策及び耕作放棄地解消に向けた「宮崎中央水田営農研究会」を設置
- 新規就農者利子補給実績 (H28~R1年)
- 青年等就農資金保証料補てん事業 41件 5,296千円
- 新規就農者定着支援リース事業 41件 14,573千円
- 農地利用促進事業 36件 12,343千円

計 **32,212**千円

新規就農者育成支援事業の展開 (単位:累計新規就農者数)

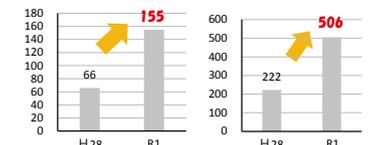


高齢農家支援件数 (単位:件)



施設ハウスICT(高度環境制御)技術の普及拡大

▼環境測定器導入数 (単位:台) ▼炭酸ガス発生装置導入数 (単位:台)



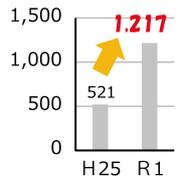
● 畜産クラスター事業活用による生産基盤拡充

機械導入の支援: 95件
牛舎建設の支援: 4件
事業費計: 31,079万円
R1年

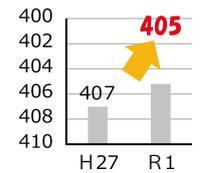
● 直営センターの多面的活用 (R1年)

- 緊急時預かり(災害・入院・事故) 繁殖牛: 12件 47頭
- 妊娠牛の私下事業(管内農家の母牛更新支援) 私下げ頭数: 26頭
- 妊娠牛の成牛市場販売(家畜商組合協力事業) 販売頭数: 10頭

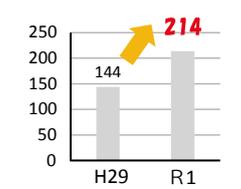
農家への支援活動
(キヤトル受入れ)
(単位: 頭)



繁殖牛生産性向上への実施
(単位: 日)
(分娩間隔の短縮)



畜産入植団地 第2国富入植団地)の整備(5戸)
(単位: 繁殖牛頭数)



4 農業生産資材コスト抑制

経済

● オリジナル商品による価格抑制

項目	商品名	従来品との価格抑制
① 肥料	施設、露地、果樹、水稲の元肥等	約3%~約26%
② 配合飼料	中央繁殖用	約3%
③ 農業用ビニール	ひなたシリーズ	約10%
④ 農業用PO	MIYAZAKI-1 PO	約10%

● 最新技術・最新情報の提供

- 関係メーカー等を一堂に参集した園芸・畜産部門の展示会を開催し、生産現場における各種情報の提供を行いました。

● 低コスト電力の提案

- 高圧電力使用者への新電力による低コスト電力への提案を行い、電力使用料抑制に取り組んでおります。

● 戸別配送の実施

- 経済渉外(めぐみ)職員33名を各営農センターに配置し、戸別配送を行っています。

● 使用済農薬及び農薬空容器の回収実施

- H30年6月実施(2年に1度の実施予定)

人数: 391名
回収量: 7,018kg

次回、令和2年6月実施予定

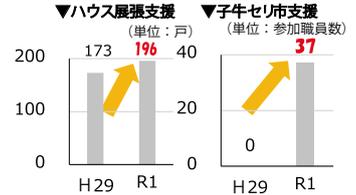
● 将来のスマート農業を見据えドローン飛行許可講習会の開催及び受託散布組合(15名)を設立

- 令和元年度 講習会7回開催 受講者27名

● 年末年始を除く祝祭日の営業等

- 各支店、年中無休体制にて営業を行っております。

高齢農家等への支援活動



● 令和元年度 生産資材価格の引き下げ実績

項目	対象品等	対策期間	条件・内容
各作物主要肥料の特別予約奨励	施設露地・果樹・花卉・水稲	水稲:2月~7月 花卉:2月、8月~11月末 施設、露地、果樹:8月~11月末	● 予約申込書記載品目に対し、 予約奨励を拡大 、オリジナル品は最大 13%値引 ● 更に、主要元肥については、購入数量別価格の設定
飼料作肥料即売会	1品目	3月、5月、9月	● 予約注文取りまとめによる短期間実施のメリットを反映し、通常の予約奨励1.5%から約 27%の値引
乾牧草フェア	3銘柄	偶数月(2月、4月...)各1週間	● オーツハイ・ブルーグラスを中心に通常価格より約 10%の値引
園芸・畜産資材キャンペーン	53品目 161規格	2月~3月、7月~10月	● 期間限定による特別価格(平均約 11%値引)
水稲・園芸農薬の特別対策	全品目	2月~6月、8月~9月	● 期間内の予約注文に対し、1.5%から 5%~7%へ予約値引の拡大 ● 大口対策としてケース購入以上で 15%値引
農業用ビニールPO	全品目	12月から翌年5月末までの予約注文	早期予約注文に対し、 ・農業ビニールで最大 30%の値引 ・農業用POで最大 20%の値引

肥料・農薬・飼料につきましては、取扱高または数量に応じた、ランク別奨励及び店舗自己取り奨励を設定しております。その他品目におきましても価格対策に努め、生産コスト抑制に取り組んでおります。

「地域の活性化」への取組み

5 地域の皆さまとともに

総合

● 准組合員向け広報誌(はびすぷらす)の作成



● 食農教育の取組み

- 保育園・小学生を対象に農作業の体験等を通じて「食」と「農」の大切さを伝える活動を行いました。



食育授業



アイス作り体験



田植え体験



保育園への農産物贈答

● 食フェスタの開催

- 令和元年5月11~12に生目の杜運動公園において、宮崎の食と農にふれあうたくさんの催しを行いました。たくさんの方にご来場いただき大いに盛り上がりしました。



● 地域貢献活動の実施

- JA宮崎中央は、地域に根付いた組織の役割として各支店毎に地域貢献活動を行いました。



事務所周辺清掃



芋掘り体験



おにぎり作り体験

● 支店別ふれあい感謝祭同日開催

- 初めての試みでふれあい感謝祭を10月5日に管内5か所で同日開催し、多くの来場者にお越し頂きました。



せんぐまき



青年部による新米ふるまい



女性部による販売

第23回

通常総代会 - 全議案を承認 -

4月28日、第23回通常総代会をJ A・A Z Mホールで開催しました。今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、各支店総代長会の会長、会長代理にのみ出席いただくものとなりました。開催にあたり、栗原俊朗組合長が次の通り挨拶を申し上げます。

「まずは新型コロナウイルス対策のため、今年はこのような総代会の形となりましたことをご理解いただきたい。農業にも様々な影響が出ておりますが、迅速な対応をするとともに、一日も早い終息を願っております。昨年の総代会にて新しい役員体制を承認いただき、今年初めての総代会となりました。組合長として組合員に寄り添うこと、組合員と対話すること、働きやすい環境を作ること、自己改革を継続して実行することを心がけてきました。J A宮崎中央は様々な状況を勘案して大幅な経営改革に取り組むことを決断しました。組合員のための総合事業を堅持するために、何卒ご理解を願いたいと思います。また県域J A構想については、慎重なる協議をすすめ「合併ありき」ではなく、組合員にとって最良の方策を時間をかけて検討してまいります。これからも誇りと使命感をもって基本理念のとおり取り組んでまいります。」

議事は福田誠議長（佐土原支店）のもと行われました。

出席者数 546人 本人出席 12人 書面決議 534人



提出議案

議案第1号

第23年度(令和元年度)事業報告及び剰余金処分案の承認について
(報告事項)令和元年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について

議案第2号

特別積立金の取崩しについて

経営改革を行うにあたり、今後の経営に影響を及ぼすことが予想されるため、これらに備え特別積立金800,000千円を取崩す。

(単位：千円)

令和元年度末特別積立金残高	特別積立金取崩額	特別積立金取崩後残高
1,885,624	800,000	1,085,624

議案第3号

目的積立金の積立目標額の変更について

今後の組合経営の安定化を図る目的により、目的積立金（経営健全化積立金）の積立目標額を次の通り変更する。

【現行】 (単位：千円)

種類	積立目的	積立目標額
経営健全化積立金	臨時的な損失に伴う経営上のリスク等に備える目的のため	1,000,000

【変更後】

種類	積立目的	積立目標額
経営健全化積立金	臨時的な損失に伴う経営上のリスク等に備える目的のため	3,000,000

議案第4号

第24年度(令和2年度)事業計画及び関連事項の承認について

- 1) 第24年度(令和2年度)事業計画について
- 2) 賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について
本年度は賦課しない。
- 3) 理事及び監事の報酬について
 - ① 組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和2年度の理事の報酬については総額59,304千円とし、各理事の報酬額についてはその範囲内において理事会に一任する。(理事24名)
 - ② 組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和2年度の監事の報酬については総額15,450千円とし、各監事の報酬額についてはその範囲内において監事会に一任する。(監事8名)

議案第5号

経営改革について

議案第6号

監事の補欠選任について

- 1) 監事の欠員に伴う補欠選任

議案第7号

役員退職慰労金の支出について

監事の役員退職慰労金については、役員退職慰労引当金規程に基づき776千円を支給することとする。なお、本総代会をもって退任する監事は以下の通りである。

氏名	略歴
四本 和正	平成22年4月27日 非常勤監事就任

議案第8号

農地利用集積円滑化事業規程の廃止について

議案第9号

農業経営規程の一部変更について

議案第10号

定款の一部変更について

議案第11号

定款附属書総代選挙規程の一部変更について

議案第12号

監事監査規程の一部変更について

議案第13号

規約の一部変更について

議案第14号

信用事業規程の一部変更について

議案第15号

固定資産の取得について

- 1) 次の固定資産を取得する。

(1億円以上)

(単位:千円)

	金額	場所	備考
Aコープ 木花店 改築工事	350,000	宮崎市 大字 熊野	(株)エーコープ みやざきへ 賃貸

議案第16号

国等の施策に基づく奨励金等の事務の委任について

令和2年度中に国等の施策に基づき、農畜産物の生産、流通及び農用地等に関して、生産者が国等より支払いを受ける奨励金等(調整金、助成金一切を含む)の交付申請、請求及び受領に関する権限並びに返還に関する事務を組合に一任する。

附帯決議

本日の決議事項中、権利義務に関しない軽微な事項の修正及び法令、その他行政庁の処分又はこれに基づく指示による場合に必要なる字句の修正をなすことを理事会に一任する。

令和
2年

JAに対する 意見・要望

Q&A

今年度は、新型コロナウイルスの影響から地区別JA座談会が中止となりました。そこで、各地域の皆様から個別に頂いた主要な質問に回答致しました。

店舗再編

店舗再編説明会・座談会・総代に対する資料説明会がコロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、店舗再編等に関する組合員への説明が中断されてしまいましたが、今後どのように対応するのか教えてください。

店舗再編については、再編対象店舗に対する地区別説明会を1地区終えたばかりのところ、中断を余儀なくされた状況です。コロナウイルスが終息したのちには、再度地区別説明会を開催いたします。また、総代に対する説明についても支店代表者会で説明をさせていただく方向で検討しております。

現在の22店舗体制から12店舗体制へ再編する考えであるが、JA宮崎中央の経営はこのような改革を行わなければならないくらい厳しいのか。また、現在の22店舗の財務面から小規模店舗と位置付けられる具体的な数字（例：支店毎の貯金、貸出金実績、共済契約実績等々）が見えてこない。また、店舗再編対象支店管内のガソリンスタンドは再編の対象とならないのか。

JAをめぐる外部環境は非常に厳しく、令和2年度には信連奨励金の減少が現実となります。また、このまま何ら対策を講じなければ当JAは事業利益赤字が予想され、その結果総合事業継続が困難となります。この対策として理事会等で幾度も協議を重

ねた結果、店舗再編という結論に至ったことに対しご理解を賜りますようお願い申し上げます。検討にあたっては、信用事業や共済事業にかかる各種の具体的な数値を用いて支店ごとに総合的な評価を行い、理事会等で幾度も検証・協議を行いました。直面する外部環境の変化に対応するには、信用部門の運用を強化することが必須であり、それには融資の伸長が急務であることから、現在融資を行っている店舗への機能集約によってフルバンキング機能の強化を図るという結論に至ったところです。この経営改革は、組合員の皆さまが夢と希望をもって農業に従事できるよう、永続的に総合事業を継続していくことを目的としたものでありますので、なにとぞご理解ください。

なお、今回の店舗等再編においてガソリンスタンドについては店舗再編の対象とはなっておりませんので、ご了承下さい。

店舗閉鎖後は、店舗の再利用を検討し生産者の為に有効活用してほしい。たとえば、敷地を活用し週一回程度、巡回車によるAコープ商品販売を行っていたいただきたい。また、巡回日に併せて、地区の生産者が農産物を持ち込み、その場で販売できるような機会を設けていただきたい。

再編後の店舗活用についてはできるだけ早期に検討すべき課題でありますので、ご要望も十分に考慮しながら有効活用を努めてまいります。

また、「㈱エコープみやぎの移動スーパー」とくし丸」が一部の地域でスタートし、買い物支援及び地域見守りとして食材から日用品、惣菜まで様々な商品を積んで巡回しております。当JAにおいても「㈱エコープみやぎの移動スーパー」とくし丸」を活用した移動販売が行えないか協議してまいります。また、農産物の販売につきま

しても今後検討してまいります。

地区に賑わいが無くなるのが心配です。地区の行事への参加や組合員とのふれあい対策をお願いするとともに、高齢者対策をお願いしたい。

現在も各地域の行事やイベント等に数多く参加をさせていただいておりますが、店舗再編後も今と変わらず積極的に参加させていただきます。また、店舗再編にあたっては、高齢者対策等や利便性確保策として、渉外体制の充実により、出向く活動の強化を店舗機能強化の一つとして取り組んでまいります。

コロナ関係

地域内で新型コロナウイルスが発生したら、生産物の出荷はできるのか。また、国のガイドラインでは、部会、地区、JAが対応することとなっておりますが、部会や地区で支援ができなくなった場合、JAの対応・対策をお聞かせください。

地域内で発生しても、青果物での感染事例はありませんので通常通りの取り扱いを行って参ります。圃場で発生した場合につきましては、国のガイドライン通り保健所の指示に従って生産施設等の消毒を実施し、その後に出荷物の取り扱いを行って参ります。JAとしても対応出来る事、難しい事があると思います。中央会を通じて農林水産省に対し、より具体的な対応策等を相談してまいります。

新型コロナウイルスの影響に対する耕種部門及び畜産部門の販売対策を教えていただきたい。

新型コロナウイルス感染拡大により、牛肉の消費が落ち込んでると聞くがJA宮崎中央は何か対策があるのか。思い切って安売りを実行することにより、JAとしても宮崎牛としてもPRになると思います。

「ピンチをチャンス」に期待します。

青果物につきましては、全国的な外出自粛により家庭内消費は増えており、野菜関係は果菜類、葉菜類を中心に堅調に推移しております。一方、果実、花卉関係におきましては、消費地の百貨店等の休業や冠婚葬祭、相次ぐイベント等の中止による業務需要の大幅減少により苦戦を強いられております。一部の品目においては回復の兆しも見受けられますが、当分の間は厳しい状況が予想されます。今後においても、販売先との連携強化による売り場、販促企画の拡大を図り、価格の確保に努めて参ります。

(参考：品目前年比(3月))

	数量	単価
きゅうり	108%	109%
ピーマン	112%	104%
ミニトマト	87%	105%
イチゴ	114%	95%
大葉	78%	84%
ししとう	103%	62%
マンゴー	103%	85%
コチョウラン	102%	93%
菊	99%	93%
ダリア	115%	72%
切花	72%	80%

※大葉：通常販売分のみ

(参考：前年比(4月))

	数量	単価
きゅうり	87%	134%
ピーマン	78%	138%
ミニトマト	85%	107%
イチゴ	75%	118%
大葉	95%	63%
ししとう	63%	68%
マンゴー	65%	99%
コチョウラン	94%	71%
菊	116%	63%
ダリア	33%	64%
切花	56%	84%

※大葉：通常販売分のみ

子牛の販売につきましては、2月815千円、3月677千円、4月655千円、5月603千円という状況です。また、コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令され、外出の自粛による飲食店等での牛肉消費量が減少しており、インバウンド・流通・輸出の減少も大きな要因となっております。

これに対し、消費拡大に向けて行政機関等と連携した対策に取り組んでいますが、現在、畜産農家、関係機関、JA役職員の協力による消費拡大にも取り組み、加えてミヤチクやエコーコープにおいてもロース肉を中心に大幅な安値での販売も実施しております。今後も引き続きJAグループ全体で連携、協力し、様々な取り組みを行いますのでご理解ご協力をお願いいたします。

融資部門につきましても、新型コロナウイルスの影響を受けられた農業者の皆様へ「経済変動・伝染病等対策資金」、およびセーフティネット資金、アグリマイティ資金等の資金対応を行っております。また、既存の貸付金につきましては、元金据置等の条件変更にも対応しておりますのでご相談ください。

新型コロナウイルス拡大によりJAの経営に影響があった場合の対応は。

本年1月中旬に国内での初感染が確認され、2月25日付で政府による「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」の公表以降、当JAへの経営への影響を最小限に食い止めること、JAからの感染未然防止及び感染拡大防止策としてマスク着用(全職員)、消毒液等の設置(出入口)、手洗い・うがいの実施等感染予防策の徹底を図っており、会議・研修会・イベント等についても重要性や代替措置(書面議決)の検討を行った上で延期または中止等の判断を行っております。その他、涉外担当職員の組合

員訪問についてもアポを取って訪問を行うこと。県外出張については原則、中止・延期の検討を行うこと。出勤前の体温測定などの対応策を実施しております。

また、新型コロナウイルスに職員が感染した場合の初動対応等については、業務の継続を前提として、コンプラ委員会等を通じてJA内周知を図っており、JA内施設で感染が発生した場合には、いつでも「新型コロナウイルス感染症対策本部」が設置できるよう準備をしております。各部門においても、組合員農家で発生した場合は、各部会等と協議・連携しながら対応してまいります。

なお、コロナ拡大による影響がどの事業にどの程度の影響を与えるかについて、経過を注視し即時の対応が講じられるよう備えるとともに、更に行政等とも連携を密にとりながら対応してまいります。

県域JA合併

JA全体統一(県一構想)の進捗状況は、どうなっているのか。

JA宮崎中央は、経営改革に取り組むが、他のJAの経営改革は、どうなっているのか。

各連合会と県下JAが一堂に会して協議を重ね、昨年10月30、31日の2日間で「県域JA成案」の中間とりまとめ(案)について県下の組合員代表者との意見交換会を開催したところです。(JA宮崎中央においてもこれに合わせ事前の研修会を開催し意見交換を行いました。)

この意見交換会において出された組合員の意見を集約した結果、当初、令和2年1月に示される予定であった「成案」は、ひとまず「草案」として整理することとなり、さらに令和2年9月に予定されていた「設

立推進協議会」への参加の是非に関する理事会決議も当面は見送ることとなり、結果としては、当JAが主張してまいりました組合員とのさらなる意見交換を踏まえたくえて進めることとなりました。

当JAとしましては、今後も当初からの方針でありました「組合員の皆様との十分な意見交換」を県域JA検討の最優先事項とし、あくまで組合員の意思を重視した慎重な議論を行ってまいります。

県下その他のJAにつきましても厳しい環境に置かれていることは同じです。これを受け、連合会を含め県内全JAにおいては、令和2年度中に今後3年間の経営改善計画を策定し経営改善に取り組む方針が決定されております。当JAは県内JAに先駆けた経営改革の実践となりますが、県域JA構想の協議においても、まずは県内全JAで経営改革(店舗再編等含む)に取り組むこととしております。

県域JAとなった場合、さらなる支店再編が実施されるのか。

県域JAとなった場合に店舗再編を行うかについては現時点では検討されておられません。

当JAは今回大きな改革を行い、単独でも事業継続可能な体質を整えてまいりますので、県域JAの検討にあたっては、県内各JAにおける事業継続可能性を考慮した改革等の必要性を訴えてまいります。

なお、県内JAにおいてもさまざまな形で店舗の集約等が行われております。



高齢農家等への支援活動の展開と実践事項にありますが、どのような支援なのか説明して欲しい。

施設園芸農家の年間作業の一端を援助することで、営農継続に対する支援を実施します。組合員の労力軽減と組合員とのふれあいを目的とし、施設園芸生産部会員の75歳以上及び女性生産者を対象に支援を行っております。

J Aブランド農産物の確立・向上について、ブランド品育成のために研究専門部署を設定し、高価値（高単価）ブランド品の開発をして欲しい。また、ブランド力強化により、ネット販売の強化・促進を目指して欲しい。

ブランド品目については、県・経済連と連携を図り、新たな品目の開発研究を行っております。今後も引き続き各組織一体となり検討をして参ります。また、営業販売課にて取り組んでいるネット販売について、更に強化して参ります。

米作りにおいては、社会情勢が変革していく中、飼料稲の増大と耕作放棄地も多く、精米所への米の量が激減し、地域の精米所にとっては経営が厳しくなっている。そこで地域（生目・瓜生野・倉岡等）の稲作を守るため、本店建設予定地であった場所に「初乾燥精米施設」の建設を是非検討していただきたい。

米乾燥調整施設については、初摺り業者の高齢化・機械の老朽化もあり施設の必要性は感じておりますので、今後も各地域の初摺り業者と協議し検討していきたいと考えています。なお、本店建設予定地については、県からの払下げを受ける要件として建設可能な施設が限定されており、行政との調整

も必要となりますので、用途について協議してまいります。

今の米価格では稲作だけでは生計が成り立たず、耕地面積を広げ省力化を図る事も地形から困難と思われる。また、高齢化も進み農村整備作業は兼業農家が主体である。そのため、若者が安心して就農出来る様な米以外の農産物の掘り起こしをJ Aに期待、要望する。

露地野菜では、産地開発メンバーにおいて、既存品目の掘り起し、新たな品目（馬鈴薯等）の研究開発に取り組んでおります。今後についても、所得の安定確保ができる契約的品目の開発、定着に向け産地交付金の活用など関係機関との連携にて進めて参ります。

J Aでは何処の米でも美味しさに関係なく、等級評価で決まる価格体系となっているが、美味しさでの格差販売はできないのが。

現在、稲作部会において有機質肥料の施用や減農薬で栽培しておりますが、食味やコストに見合う評価がなかなか得られていない状況であります。今後も引き続き検討してまいります。

ジャンボタニシの駆除について、方法があれば試行段階でもよいので教示願いたい。

耕種的対策としましては、浅水管理でジャンボタニシの行動を抑制し食害軽減を図ることが出来ます。その他には、1、2月の厳冬期に耕耘し寒波にさらす方法やトラクターのロータリー回転を高速にし低速走行することにより粉砕効果を高める方法があります。また、収穫後10月下旬までに、湛水した圃場に石灰窒素を20〜30kg/10a散布し、1週間程度湛水状態を保つことによりジャンボタニシ防除に効果があり

ます。地域でまとまって行うことが効率的な防除に繋がると思っています。

高齢化による耕作放棄地の問題があるが、若い後継者との交流を活発に行うなどJ Aの支援や作物の提案が必要と思つ。

高齢化や担い手不足により、耕作放棄地を始めとして産地生産基盤の維持・発展が今後の課題と認識しております。今後も農業委員会等の行政機関の指導を仰ぎながら長期的な視野に基づく農業振興を推し進めます。一方、次世代との交流の場の創出や環境に適した品目・各種事業の提案、活用等、関係部署と連携し検討して参ります。

若い世代の農業後継者に対して栽培面も大事だが経営面（税理士を呼ぶなど）の講習会を行ってほしい。現在も持っているようだが若い世代には話が届いていない。若い世代（青年部等）にも話が届くようにしてほしい。

農業後継者については、技術を磨くことも、早い段階から経営感覚を養い、スムーズな事業継承が行われることが望ましいと考えます。現在J A農業経営改善協議会では会員向けの研修を行っておりますが、農業後継者を始めとする若い世代を対象にした機会はないので、研修会等の企画立案に向け行政や中央会を含めた関係機関で協議をして参ります。

また、個別の税務相談については、宮崎県やJ A宮崎中央会が専門家（税理士等）を派遣する支援事業も行っておりますので、最寄りの支店にご相談下さい。

農地利用円滑化団体が農地中間管理事業と一体化することが決定されたことありますが、J Aから職員を派遣するので、農地利用集積円滑化事業が廃止された後、事業の受け入れ先の中間管理について、組合員への説明等はあるのですか。

令和2年4月の農地バンク法改正により、農地の貸し借りについては農地中間管理事業（機構）に一本化されました。今後J Aとしましては、組合員（農地所有者）の皆様からの農地貸借りの相談・調整機能を中間管理機構や行政等と連携・協力し担って参りますが、中間管理事業の主体は、あくまで県農業振興公社でありますので、現時点ではJ A職員を派遣する予定はございません。

また、組合員（農地所有者）への説明につきましましては、現在貸付期間満了の契約更新時や新規の貸付相談の際、当事者に対し個別に事業内容をご説明しております。なお、当事者以外の全組合員（農地所有者）の皆様にも理解いただけるよう、TV等メディアを活用して周知を図るなど行政や農地中間管理機構に働きかけてまいります。

組合員農家所得向上の具体策を教えてください。組合員の営農と生活を守ってほしい。

J A宮崎中央長期計画（ネクスト10）で示しました「希望の持てる農家所得」の実現に向け、収量 品質アップへの取組みを行っております。具体的技術としては、ICTを活用した栽培管理技術の高位平準化、管理作業の見える化による作業効率の向上に努めて参ります。また、J A農業経営改善協議会との連携にて費用対効果等の経営検証等にも取り組んでまいります。

経済事業につきましては、肥料・飼料・ビニール等のJ A宮崎中央オリジナル商品の開発・導入及び主要品目の特別価格キャンペーン実施等による生産資材の価格引下



げに加え、農機具ビッグフェアや情報提供を目的とした展示会を開催し最新技術・低コスト品・推奨品等の推進に取組んでおります。今後とも、生産コストの抑制及び商品の安定供給に努めてまいります。

販売

物流改革について、なにかあれば教えてください。

物流改革につきましては、J A宮崎経済連を中心に、県下での効率的輸送体制構築に向け、次の取り組みを基本に進めているところであります。

- ① 物流拠点の設置によるJ Aとの積み合わせによる市場直接輸送
- ② 輸送組織の再編、県域配車でのチャーター利用による輸送経費の抑制
- ③ フェリーを活用し大型コンテナ利用での輸送運賃の抑制

私は胡瓜部会員だが、販売先として市場流通外の販路、例えば業務用加工場等の契約出荷（希望者のみ）などを検討してもらえないか。

ある程度技術が必要なワンタッチ胡瓜よりも簡単な収穫方法があれば、少ない人数でも収穫面積が増やせると思う。そのためにはA D混入のコンテナでも購入してくれる販売先をさがしてもらいたい必要があると思う。その為には先進事例やコンサルなどに頼むなどの方策があるのではないか。

本年度は市場外業務加工向けで168tの契約販売を計画しております。業務加工向けでも、シーズンで等級（BC）、階級（LMS）毎の数量指定がありレギュラー箱中心に行っているのが現状であります。欠品は許されず時期によっては確保するのに

苦慮しているのが実情であります。

規格の簡素化のアイテムとしては、現在10kDBの平箱（AB混・LMS混）がございます。A D混入につきましては等級に幅がありすぎると価格の設定方法、取引先での再選別作業の発生や品質の低下等が懸念されております。

次園芸年度では、契約販売でのAB・MS混（希望者）での新規取引提案に向け販売先と協議を進めているところであります。

大都市圏だけでなく九州管内にも加工工場があると聞く。近場だと輸送コストも抑えることができ、トラックドライバ不足にも対応できるのではないかと。優秀な生産者を系統外に行かせないためにも、販売先に多くの選択肢が欲しいと考える。

九州管内にも小規模にはなりますが、加工工場はございます。いも類、大根、人参等の根菜類を扱う工場が多いのが現状です。九州という輸送面でのメリットは十分ありますが、要望時期と宮崎中央管内の作付け時期があわず実現に至っておりません。今後、手取りを意識した品目提案に努めて参ります。

J A宮崎中央としてのブランド野菜はあるが、旧J Aで見た場合、それぞれの地域で特色があると思う。各地域の特産品を利用したPR活動も必要でないか。そうすることで、各地域及びJ A宮崎中央のPRとなり、さらにはJ A宮崎中央の自己改革にも繋がるのではないかと。

J A宮崎中央各支店において、地域の特色を生かした品目についても、徐々に作付けの広がりが見られ、面積が増加している品目もあります。引き続き宮崎市・国富町と連携して実施しているファン拡大事業利用等にて地域特産品のPR活動を行い、面積維持が出来るよう努めて参ります。

生姜について安定した出荷をするためにも、生姜種子用の予冷库を確保してほしい。

現在、種子生姜の納品後の管理につきましては、個別にてお願いしています。予冷库での種子生姜の貯蔵については、技術面で一定の基準でのきめ細かな管理が不可欠であります。更に設置コストと入庫数量等の費用対効果も含めて慎重に検討してまいります。

割り干し大根の価格が200円ほど下がった。理由を知りたい。

割り干し大根につきましては、前年度の買入れ価格の高騰により店頭売価も大幅に上昇し、販売環境の悪化とともにJ Aにおいても在庫を抱える状況となりました。各業者においても同様で、本年度は全体に下がった提示価格での取り扱いとなりました。追加精算が出来るよう販売強化に努めて参ります。

支店代表者会にて説明のあった干し大根の取扱いについて、現状と変わらないと説明があったが、切り捨てにならないか心配である。（J A撤退で価格の下落）

部会運営につきましても今まで通りでございます。また、価格設定につきましても今まで通り販売情勢、在庫状況を踏まえ提示させていただきます。今後も生産者との契約数量に基づいた取扱いに努めて参ります。

農作業が出来る時間を有効に使いたい為、式部の里の営業時間を日の長い夏場だけでも1時間延長して頂けないか。延長する事で利用客も増えるのではないかと。

式部の里では営業を18時までと設定しております。たしかに営業時間延長による客増は期待できますが、その反面、鮮度に

こだわらるファーマーズマーケットの機能上、消費者は朝獲れ農産物をイメージして来店されますので、遅い時間帯の出品を広げるなどのデメリットも懸念されます。今後とも従来の営業時間にてご利用をお願いいたします。

経済

農業の回収は3年に1度J Aが回収してくれるが、肥料袋の処理に困っているのでJ Aが回収してくれないか。

使用済農業の回収につきましては、県内に適当な回収業者が無いことからJ Aが中間回収先となり、複数年に1度、支店購買店舗（那珂購買除く）にて実施しています。肥料袋など農業用廃プラスチックの回収におきましては、管内若しくは隣接に廃棄処理業者がある支店においては個人で業者への持込みのうえ、処分をして頂いております。尚、肥料袋（要洗浄）におきましては農業用PO及びマルチと同じ扱いでの回収処理となりますので、今後とも産業廃棄物の持込みにご理解とご協力のほどお願い致します。今年の使用済農業の回収については、令和2年6月12・13日を予定しております。

水稻を主作物としてしているが、農業のケース買いの割引（30%）については、6月までの期限付きでは無く、年間通じての設定として欲しい。

水稻農業を始め農業の（ケース買い）特別価格は、期間を限定することで一括大量仕入れや配送コスト抑制などを実現し、割引が可能となっております。今後とも、経済渉外（めぐみ）担当者による推進を主体に予約購買に努め、出来る限りの生産コスト抑制対策に取り組んでまいりますので、ご

理解のほどよろしくお願い致します。

宮崎SSの日曜営業を再開してほしい。それが無理なら田植え時期などの繁忙期だけでも日曜営業をしてほしい。

SSの営業については、資格取得者の適性配置(消防法)を基準に労働環境を考慮した体制となっています。現在、人手不足のなか十分な労働環境が作れず営業を行っており、営業日数を増やす事は厳しい状況にあります。作業の集中する田植え時期等については、農機センターと連動した営業を検討致します。

魅力ある肥料・農薬の販売を期待します。除草剤などインターネットの方が安い商品がありますので、JAの交渉力を発揮し価格の引下げに努めてほしい。

現在、グループ会社及び指導部門と連携を図り、JA宮崎中央オリジナル商品(30品目)の開発・導入を始め、定期的な競合店等の情報収集のもと、園芸・畜産部門等の農薬・資材等のキャンペーンに加え、展示会・即売会での特別価格の実施など、各分野においての生産コスト抑制対策に取り組んでおります。しかしながら、JAグループを意識した農薬等のインターネットでの特売や商系業者特有の戦略・攻勢等により価格差が生じる事があり、価格対策の全ての商品が満足できるものではないと考えますので、今後とも仕入機能の充実化に努めて参ります。また、今以上の価格対策を講じていく為には、予約数量の拡大は不可欠でありますので、経済渉外・指導員が巡回に伺いましたら、是非、予約注文をよろしくお願いいたします。

農業機械修理の充実を望む。メーカーに修理を頼むと非常に高く、稲作等において農機具修理のコストが一番大きい。メーカーから購入した農機具であっても修理を引き受けて欲しい。また、農機具用燃料についても燃料税を軽減するように行政に働きかけて欲しい。

JA以外から購入した機械も、修理を引き受けておりますが、通常取引の無いメーカーについては、部品入手に時間がかかる場合がありますのでご了承ください。農機具用燃料の軽油については、県税事務所への申請が必要になりますが、軽油引取税(32.1円)の免税制度(免税軽油)が制定されています。

JA女性部活動を様々な場所に掲示したいと思っている。AコープとかSNSでPRして部員増員できたらいいと思うかどうか？

貴重なご意見ありがとうございます。現在、広報誌の「めぐみ」等を中心に女性部の活動を紹介しておりますが、さらに幅広いPRを行ってまいりますので、女性部みなさんのご協力もよろしくお願いいたします。

バラ飼料の通帳記帳について、種類・名前をバラ飼料と記帳するのではなく、「宮崎中央前期」や「みのり」と印字できないものか。バラ飼料だと何のエサなのか分からない。

飼料を含む生産資材代金の口座からの引落しにつきましては、購買と金融との連動システムの関係上、品名毎の引落登録が出来ませんので、分類名称(肥料、飼料、農薬等)での通帳記入とし、引落しされた商品においては引落明細表での確認とさせて頂いております。尚、引落明細表においては、JAから定期的に配布するように致します。

重油配送委託先との取引がなくなつた理由を教えてください。今後はJAが業務を行うようだが大丈夫か。また、重油納品時に組合員と配送者での立会確認は行つたのか。

従来の委託先は、社員の高齢化による人手不足に加え、車両の老朽化もあり事業の継続が困難になったようであり、今後はJAについて、現状通りの重油配送を、JA単独で行ってまいります。

金融

年配者はATMの操作方法など分からない時に不安である。ATMの中に支店の貯金為替課と連絡が取れるよう電話等の設備を設置出来ないか。また、外回りの職員とすぐに連絡がとれるような電話を設けて欲しい。

今後は、支店窓口およびJBAによるATM操作方法の周知を積極的に行うとともに、年金受給日には閉鎖店舗のATMブースに職員を配置し、操作方法の誘導等を行ってまいります。また、通常のATM稼働時間帯の対応としましては、ATMブース内に①操作方法を音声ガイダンスにて案内する「ハンドセット」機能②休日でも全国集中監視センターに直通し、ATMの操作方法に関する問い合わせや有事の際の対応を案内する「オートホン」機能が搭載されておりますのでご利用をお願いいたします。

なお、ATMブース内に電話機等通信機材を個別に設置することは防犯上の観点からできませんのでご了承ください。

共済

組合員も高齢化していくなかで顔の見える身近で安心なJA共済であってほしいと思うので、共済担当者の異動をあまり頻繁に行わないでほしい。

地区ごとに共済担当L/Aを配置し、引き継ぎしやすい体制を整えております。人事ローテーションについては、人材育成上の教育的効果と不祥事未然防止等のコンプライアンスにかかる事故防止を目的として実施しております。特に金融、共済部門においてはJA等に対する監督方針や体制整備基準等に基づいて、5年を限度として配置転換を行っておりますのでご理解下さい。

組合員減少

今後、ますます正組合員及び出資金の減少が続く、JAの組織力の低下につながると思うが、今後の対応をお聞かせください。

正組合員及び出資金の減少につきましては、高齢の農家の方々の死亡脱退・任意脱退により前年対比で53,733口(金額53,733千円)減少しており、毎年同程度減少が続いております。今後も減少が見込まれますが、次のとおり取り組んでまいります。

- ①後継者への出資金の譲渡・継続要請を行うこと。
- ②組織・事業基盤の強化及び協同活動への参画強化を図るため、女性部・青年部の未加入者・農家子息を主な対象として、加入推進を行うこと。(令和元年度加入実績227名)
- ③任意積立を行い、出資金の流出をカバーすることで将来の経営の安定性を図ること。

新規正組合員数、脱退者数は記載してあるが、新規正組合員数の内、新規就農者は何人が記載してほしい。また、脱退者はどのような理由で脱退しているのか？

新規就農者がすぐ離農しているのか？
またいるならその理由を聞かせてほしい。

資料の記載内容につきましては、法令で定められている内容を記載しておりますのでご理解下さい。正組合員数の内、新規就農者の数であります。J.Aの「研修事業」を経て就農に至った者との前提であれば、令和元年度には10名が加入されており、累計になりますと112名が加入されております。また、脱退者につきましては高齢化による死亡脱退、任意脱退により年々減少しており、新規就農者の脱退は見受けられません。

経営改革

信用・共済事業が低迷していく予測であるが、J.Aの本業である経済部門において准組合員や地域住民の利用ができる店舗（ホームセンター）を作ってみてはどうか？

新たな事業に関するご提案ありがとうございます。J.Aは、地域農業の振興を目的として農業関連資材等の供給を行っております。ホームセンターとなりますと、膨大な種類の物資を取り扱うことが必要となり、採算性の面からも、また先述したJ.Aの目的の観点からも十分な検証が必要であります。今後も組合員のみならずからのご提案もいただきながらJ.Aとして取り組むべき事業について研究をしながら検討してまいります。

財務・会計

信連の奨励金は、毎年どのくらいあつて、4年後は本主に何も無いのか？また、共済連も同様に教えてもらいたい。

信連の奨励金につきましては、毎年約6億円から7億円という状況であります。J.Aに対する信連奨励金水準の引き下げが打ち出されており、令和2年度から5年度にかけて、約2億から3億円の減少が予想されます。また、共済連につきましては、奨励金が約4千万円、付加収入が約15億4千万円となります。

農民連盟

農民連盟の拠出金を座談会の日当から取るのは理解できない。

現在の農民連盟拠出金の方法については、平成22年の組合員の代表者からなる代議員会において、十分な協議のうえ決定されました。拠出金は任意的なもので間違いありませんが、組合員にとって必要であることをご理解いただき、出席者全員にお願いしております。

本店建設

本店の建設状況についてはどのように進んでいるのか。

本店建設については、J.A宮崎経済連との合同で宮崎市地区計画に沿って進めてきましたが、建設予定地に隣接する市道に市の送水管が埋設されていることが分かり、当該地が軟弱地盤であることから漏水事故等が発生する危険性など大きな懸念事項が

判明しました。これを受け関係行政機関、設計コンサルタントと再三にわたり協議を重ねてきましたが解決策が見出せない状況となり、慎重に協議を行った結果苦渋の決断ではありますが、地区計画の取下げを申請し本店建設計画を一端見直しすることになりました。

また、宮崎市防災支援拠点生目の杜西線（市道）の開通が令和2年7月に予定される中、当該市道に隣接する組合敷地の法面が露出風化しており、法面上部の立木倒伏や落石による不測の事故を引き起こす危険性が高い状態にあります。災害の未然防止の観点から、現在、立木伐採と法面の一部掘削の防災工事を行っております。

今後の方針としては、現在取り組んでいます経営改革（金融店舗の再編・営農関連事業の事業改革）などの動向を見据えながら適時適切な整備を検討してまいります。

施設整備

木花支店は今後も残っていけるのか。
また、老朽化による建替えやエコープ木花店改築に合わせ、エコープ店舗に併設の移転計画は考えられないのか。

木花支店につきましては店舗機能の強化を図り、店舗の継続に努めてまいります。建替えについては、経営改革による店舗再編をしていく中で状況をみながら検討を行ってまいります。またエコープ木花店改築工事に伴い同敷地内への移転を含め検討していましたが、現段階では木花支店の改修時期が未定及び駐車場の確保が難しい為、エコープ木花店への移転は考えておりません。

穆佐ATMについては、出入り口が狭いので、もっと広くすることは可能か。隣接地（穆佐小職員駐車場）の一部を使用できるよう宮崎市に交渉してほしい。

隣接地である穆佐小職員駐車場については宮崎市教育委員会と連絡を取り、交渉の為3月9日に訪問する予定となっております。また、新型コロナウイルスの関連により、交渉の場が延期となりました。現在まだ交渉が出来ておりませんが、今後については密に連絡を取り、宮崎市教育委員会と交渉後回答いたします。

プリエール

プリエール佐土原の杜利用時、すべての駐車場が満車で警備員に「時間をずらしてきてください」と言われた。会葬者の多い時は臨時駐車場を準備出来ないか。

プリエール佐土原の杜の駐車場に関しましては、最大で145台（斎場65台、那珂支店50台、第2駐車場30台）駐車可能であります。ご指摘の件は、昨年12月のご葬儀の事と思われま。

対応しました警備員の言動で、不快感を与えてしまいました事を深くお詫び申し上げます。現状では、近隣に臨時的に対応できる駐車スペースの確保は望めない状況であります。従いまして、今後多くの会葬者が予想される場合は、花ヶ島の杜の実施を促す等の対策で対応できればと思っております。また、警備員の対応にも、十分な配慮を心掛けるよう再教育してまいります。



茶



春の暖かい日差し、風を受けて、今年も美味しいお茶に仕上がりました。

4月上旬より各地区での新茶摘採が始まりました。緑茶に含まれるカテキンには酸化作用など、ビタミンも豊富でお肌の調子を良くする働きもあります。

自宅で過ごす時間には緑茶を入れて、優雅なひとときを過ごされてはいかがでしょう？ ぜひJA宮崎中央産のお茶をご堪能ください。



4月7日

茶園巡回で今年の概況確認

管内のお茶生産者の圃場をJA役職員らが巡回を行いました。役職員らは、生産者より今年のお茶の生育についてやコロナウイルスによる流通についてなどの意見・質問を伺いました。

今年は暖かい日もつづき、お茶の生育も大変良好とのこと。



高岡町にて

マンゴーを食べて笑顔になってほしいと願いを込めて出荷します！



完熟マンゴー

4月16日に全国の市場で一斉に解禁となった完熟マンゴー「太陽のタマゴ」。糖度15度以上で1玉が350g以上の基準をクリアしたものです。甘い香りで果汁たっぷり、濃厚でとろける食感です。店頭での販売だけでなく、今年はネットでの販売も好評です。



4月17日・22日

「太陽のタマゴ」出荷解禁！

4月17日宮崎市、4月22日には国富町へ贈呈を行いました。今年は新型コロナウイルスの影響で全国への流通が懸念される中、「太陽のタマゴ」出荷がスタートとなりました。

宮崎市へ贈呈を行った仁田脇義彦部会長は「今年は例年になく糖度や色味ともに非常に良いものがで

きました。全国のみなさまへ元気が与えられるように宮崎から発信していきたいです」と挨拶。5月中旬～下旬に出荷のピークを迎え、400トンの出荷を目指します。全国放送テレビでの賞品やふるさと納税の返礼品としても大人気です。



宮崎市戸敷正市長へ贈呈



国富町中別府尚文町長へ贈呈

アールスメロン

JA宮崎中央アールスメロン部会の8名の生産者が、宮崎市内で丹精込めて栽培しています。芳醇な香りと甘味がたっぷりつまったアールスメロンは、今年も宮崎の光を浴びながら立派に仕上がりました。昨年末には贈答用の包装に力を入れ売り方の工夫も行うなど、生産者、宮崎市と協力して販売PRにも力が入っています。



4月21日

宮崎市戸敷正市長への贈呈式も行われました。贈呈時には同部会長友政弘会長が「生産者の数も減ってしまいましたが、JAと行政の力を借りながら他産地に負けないよう、生産者で一致団結していきたい。」と挨拶しました。

住吉支店

JAと地域交流の場をご紹介します

はぴすのわ

生徒たちのために
頑張ります!



例年、宮崎市立住吉小学校・住吉南小学校にて農業体験学習として田植えが行われています。4月9日、今年度は休校となっているため、各学校で青年部と教員の方々による田植えが行われました。住吉南小学校では生徒たちに代わって3名の先生らが田植えを体験。校長先生も毎年生徒らが楽しみにしている田植え体験とあって今年は非常に残念と話します。青年部が機械を使って残りの田植えを終えると、先生らによって肥料も播かれました。たくさんのお米が実り、生徒たちが収穫を通してお米の学習ができることを願います。





ほっとトピックス



4月30日

花き生産者 市・町へ嘆願書提出



[上]中別府尚文町長へ提出

[左]宮崎市戸敷正市長へ提出

JA宮崎中央花き連絡協議会の花き生産者たちによって宮崎市と国富町へ嘆願書が提出されました。コロナウイルスの影響による花き販売の低下により花き生産者の問題は深刻化しています。売り場の減少、イベントの中止、冠婚葬祭の縮小などで使用される頻度も減り、栽培する上でも重油や賃金など多くの費用が掛かります。そのような状況を行政に報告、今後の対応

を求めました。同協議会門前出光会長は「要望については県や国にもお伝えいただきお力添え頂きたい」と挨拶し、7項目の要望を記載した嘆願書を手渡しました。

JA宮崎中央でも野菜、果樹、花きの即売会を行い、まずは生産者同士の助け合いをつなぎ、消費拡大を目指していきます。



宮崎市役所にてマスク寄贈



国富町役場にてマスク寄贈

4月～5月

コロナウイルス対策に地域貢献



古賀総合病院へ手づくり防護服を寄贈



特別養護老人ホームめぐみの里へマスクを寄贈

JA宮崎中央は、新型コロナウイルスによる影響から医療現場や施設のマスク等不足を問題とする中、地域のために少しでも手助けになればとマスクの寄贈を行いました。また、農業用資材であるマルチを使って防護服の製作を行い、病院への寄贈を行いました。

マスクは医療現場へ届けるため、宮崎市と国富町にそれぞれ寄贈しました。その後、地域の老人ホームや地域の正組合員、青年部、女性部、年金受給のある高齢者へ配布を行いました。

また、ビニール製の防護服作成については、社会医療法人同心会

古賀総合病院のアドバイスを受け、ビニール加工センターの一部で製作を行いました。5月7日、製作した150枚の防護服を寄贈しました。病院関係者の方々から防護服の不足の現状を聞き、今回のJAでの製作を大変感謝いただきました。

作り方は段ボールで作った型に合わせ、マルチを切り、家庭用アイロンでつなぎ合わせます。10分ほどで出来る簡単なものです。インターネットで検索すると作成法も掲載されているとのこと。





畜産部だより



4月期 品評会

令和2年4月17日

【出場頭数】 雌子牛の部20頭 去勢子牛の部3頭



去勢の部 野崎 利博さん [田野]

「大地」号(H31.8.17)父「耕富士」、母の父「福之国」、母の祖父「安平」、母の母の祖父「福茂」



雌の部 西村 幸一さん [宮崎]

「りほの1」号(H31.7.25)父「勝光美」、母の父「勝平正」、母の祖父「福之国」、母の母の祖父「大将」

成績 (敬称略、かつこ内は支店名)

【去勢の部】

2席 野崎 章吾 (田 野)
3席 山岡 龍司 (国 富)

【雌牛の部】

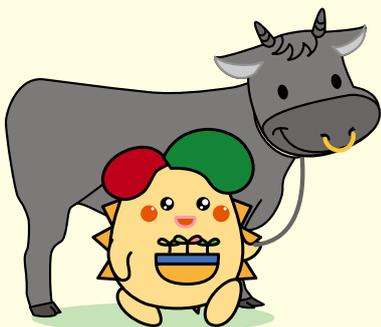
2席 児玉 洋子 (南宮崎)
3席 長野 貴寛 (高 岡)
4席 三根 正則 (国 富)

5席 高橋 正輝 (佐土原)
6席 甲斐 芳彦 (佐土原)
7席 上野 隆司 (国 富)

8席 関師 一彦 (佐土原)

4月期 セリ市

令和2年4月13日~14日



地区	性別	頭数	最高	最低	平均価格	kg単価
宮崎	雌	21	887,700	435,600	642,609	2,401
	去勢	50	893,200	421,300	651,222	2,238
南宮崎	雌	61	1,045,000	372,900	644,708	2,371
	去勢	75	881,100	398,200	674,461	2,293
田野	雌	29	743,600	150,700	589,182	2,218
	去勢	43	849,200	484,000	661,944	2,297
佐土原	雌	36	991,100	100,100	675,980	2,441
	去勢	47	876,700	532,400	705,638	2,334
高岡	雌	21	991,100	496,100	639,623	2,321
	去勢	33	914,100	453,200	659,766	2,213
国富	雌	69	1,105,500	209,000	647,836	2,352
	去勢	85	979,000	326,700	650,410	2,262
合計	雌	237	1,105,500	100,100	642,938	2,356
	去勢	333	979,000	326,700	666,160	2,276
	総体	570	1,105,500	100,100	656,505	2,308

のうたぎょう memo



早期水稲

Rice

移植後の概要

本年の田植え最盛期は平年並みの3月26日となりました。田植え直後の低温・強風により葉の黄化があり、その後、天候は良く水温・地温は上がってきているが、強風が続いた影響により、水分蒸散のストレスにて生育が遅れております。4月23日の生育調査結果では、葉齢は平年より少なくて49枚、莖数は平年より多く70本、草丈は平年より低く23・6cmとなっております。（※葉齢：葉の枚数、莖数：分けつの本数）

水管理

中干し後は間断かん水（3～5日おきに水を入れる）を心がけましょう。ただし穂肥は水を入れてから行います。また幼穂形成期～開花期は、稲の一生の中で最も水が必要な時期ですので水を切らさないように湿水し、その後は間断かん水で最後まで根を健全に保ち登熟向上を図りましょう。

除草

雑草の種類や大きさによって除草剤を選択しましょう。また、除草剤の種類によって使用方法が異なりますので、詳しいことは最寄りのJAMAもしくは普及センターへお問い合わせください。

穂肥

①穂肥の時期：コシヒカリは出穂15～20日前です。平均的な株の最も長い茎を株元から引き抜き幼穂を確認します。コシヒカリは幼穂の長さが1cmほどあれば穂肥の適期です。

②穂肥の量：施用量は「カラスケール」等を用いて判断して下さい。雨後や朝露が残っている時の施用はなるべく避けましょう。

※早期一発君について

早期一発君には基肥に加え、穂肥分の窒素も含まれており、施肥が1回で済むように製造されていますので、穂肥をする必要はありません。

〔防除〕

散布時期		対象病害虫	農薬名・倍数
6月	中旬	紋枯病	バリダシン液剤5（1000倍150L）又はハリダシン粉剤DL（3～4kg）
下旬	出穂	穂いもち病、カメムシ	ヒームエイトスタークル（1000倍150L）又はヒームスタークル粉剤5DL（3～4kg）

散布時期	対象病害虫	農薬名・倍数
7月上旬	カメムシ	スタークル液剤10（1000倍150L）又はスタークル粉剤DL（3kg）

動噴等を持たない方は幼穂形成期に穂いもち・紋枯病の対策として「オリフライト1キログラム」の施用が効果的です。使用量は10a当たり1kg、使用時期が収穫45日前までですので、散布時期にご注意ください。



普通期水稲

Rice

近年では、6月上旬までに移植したヒノヒカリは、気温の高い時期に出穂するため、登熟が不完全となり乳白米、心白米の発生により下位等級の割合が高くなっています。田植時期を6月20日以降に遅らせて品質向上に努めましょう。

田植え

条間30cm×株間17～18cm植えて、坪当たり60株を確保しましょう。

病害虫防除

葉いもち・ウンカ類・コブノメイガ対策として、サンスバイク箱粒剤を苗箱に施用し病害虫防除の初期予防対策を実施しましょう。つけ苗は、いもち病の発生原因となりますので必ず取り除いて下さい。

水管理

田植えから10日間は深水（水深4～5cm）にして根の活着を促します。根が活着したら、水温と地温を上げるため浅水（水深1～2cm）にして分けつを促しましょう。

飼料用イネ

周囲に主食米（ヒノヒカリ等）がある場合は、必ず病害虫防除を実施して下さい。近年、飼料用イネからのウンカ・コブノメイガ・カメムシの飛来により、主食米への被害が多数発生しております。畦畔管理を徹底し、出穂前後の2週間は畦畔の草刈りは控えましょう。

〔ウンカ・コブノメイガ対策〕

方法	薬剤名	使用量
箱施葉（普通期）56月移植	デジタルバウアー箱粒剤（いもち病・ニカメイチュウ・コブノメイガ・ウンカ類対策）	50g/箱

方法	薬剤名	使用量
本田防除（出穂期以降）	スタークル液剤10	1000倍150L

※詳しい内容は飼料用イネ栽培ごよみを参照して下さい。



温州みかん

Fruit

病害虫防除

〔必須防除〕

散布時期	対象病害虫	農薬名・倍数
5月下旬	そうか病 黒点病	ベンコゼブ水 4000倍
ハダニ	ハーベストオイル	2000倍
6月下旬	コナカイガラ ムシ類 ゴマタラカミ キリ	スラサイド乳剤40 15000倍 20000倍
黒点病	ベンコゼブ水	6000倍
7月中旬	※スリップス多発園はダントツ（巻） 2000倍を混用	

〔臨機防除〕

対象病害虫

農薬名・倍数

ナメクジ類
ヨトウムシ

スラゴ1～5kg/10a
※毎年カタツムリ・ナメクジ類の多い園地は銅箔テープ又は銅テープを使用する。

ハダニ

サビダニ

※葉面散布を行うことにより、生理落果が軽減され、果実肥大も良くなります。しっかりと葉面散布は行いましょう。

パワフルグリーン2号 800倍又は、又は、尿素 5000倍

※ハーベストオイルは6月末までには散布を行ってください。（極早生で着色遅れの恐れがあるため。）

※開花後にデラン（フ）を散布した園地は、ハーベストオイルの散布はしないで下さい。（葉書の恐れがあるため。）

※黒点病予防のベンコゼブ水和剤、ジマンダイゼン水和剤やエムタイファー水和剤は300mm程度の雨量で効果がなくなりますので、散布後250mm程度雨が降ったら次回の散布を行ってください。

※カミキリムシの飛来が多い園地は、7月中旬～8月上旬にモスビランSL液を4000倍で幹のみ散布して下さい。

※葉面散布は3～40日間で二次生理落果が始まりますが、6月中旬頃から小玉果等を主体にした粗摘果を始めましょう。粗摘果は早いほど小さい果実への養分の流れを防ぎます。

摘果管理

①粗摘果の時期は結果部位によって実施時期が異なります。

6月中旬～6月下旬：樹冠下部を全摘果します。（ふところ・下垂枝・弱小枝）

6月下旬～7月上旬：樹冠中部の最終摘果量の70%を摘果します。

7月中旬～8月上旬：樹冠上部の最終摘果量の70%を摘果します。

○仕上げ摘果は摘果残量の30%を、果実肥大状況を見ながら行います。

7月中旬～：樹冠中部

収穫期まで：樹冠上部

※仕上げ摘果の目安として満開後80日目の果実横径が40mmに達していないものを摘果しましょう。

②摘果の方法

樹全体からみた果実比は、粗摘果が14枚に1果、仕上げ摘果が20枚に1果となります。

〔摘果時の注意事項〕

・極小果・傷果を中心に摘果します。

・強い枝に結果した果実については、その先端部がある程度垂れるまでは摘果しません。

・有葉果については、できるだけ残します。

※詳しくはJA果樹担当指導員までお問い合わせください。

シェフ永井のおすすめ

ながいともかず 永井智一 茨城県笠間市にある「天晴（旧キッチン晴人）」オーナーシェフ



新ジャガとアスパラのバター煮

材料 (2人分)

ブリ	2切れ (30g)
新ジャガイモ	ゆでた物 2個
アスパラガス	ゆでた物 5本
トマト	中 1個 (4等分)
紫芽 (むらめ) ※赤シンの若芽	適宜
サラダ油	適宜
かつおだし汁	2カップ
バター	大さじ 1
塩・こしょう	適宜
しょうゆ	小さじ 1/2

作り方

- ゆでた新ジャガイモは厚めに輪切りにしサラダ油で素揚げする。
- 鍋にだし汁とバターを入れて中火にかけ、沸いたところに素揚げした新ジャガイモを入れて弱火にして10分ほど煮る。
- 同じ鍋にアスパラガスとトマトを入れ3分ほど煮る。
- 仕上げにしょうゆを入れ、塩・こしょうで味を調え器に盛り、紫芽を散らして出来上がり。

就寝前は丁寧な歯磨き、デンタルフロスや歯間ブラシも使用して、歯の間もきれいにします。フッ素入り歯磨き粉を使用するならば、歯にフッ素を残すため軽く1回うがいをする程度で十分です。

起床時と就寝前は歯を磨くとして、食後は歯科の専門家の間でも意見はいろいろです。かつては「毎食後、1日3回、1回に3分間以上の歯磨き」といわれていました。最近では「食事に含まれる酸で歯の表面が弱くなる食後に歯磨き

虫歯を予防し歯の健康維持に大切なのが3〜6カ月に1回の歯科検診と毎日の適切な「歯磨き」。

歯を磨く習慣は、その人や家庭によってさまざまです。まず、朝起きてすぐの歯磨き、これは大切です。寝ている間に口腔（こうくう）内の雑菌や前夜までに吸い込んで、寝ている間の呼吸で口の中に出てきたウイルスや細菌が歯の周囲に付着しています。起床後すぐの歯磨きは、スッキリして気持ちが良い、歯の健康のためにも良いだけではなく、風邪など感染症の予防にもつながります。

高年齢者や糖尿病や腎不全などの病気になる人は虫歯から炎症が広がり命に関わることもあり得るので、虫歯も侮れません。



6月4日は「虫歯予防デー」です。

家族の健康

良い歯を維持したい

健康科学アドバイザー ● 福田 千晶

すると歯を傷つける」という意見もありますが、やはり「食後は虫歯の原因にもなる糖分をすぐに落とすべき」という意見もあります。

歯磨きは食後30分くらいで行い、農作業などで屋外にいて歯磨きしにくいときは、水でうがいをして洗い流しましょう。食後すぐに、力を入れての数分間もの歯磨きは、歯に傷を付けて虫歯の原因にもなりかねません。

歯ブラシは古くなると歯をきちんと磨けないばかりでなく、歯肉を傷めます。1カ月に1回は新調することもお忘れなく。

頭の体操

ヒント そのまま食べるだけでなく、乾燥させたり、ジャムにしてみましたり...

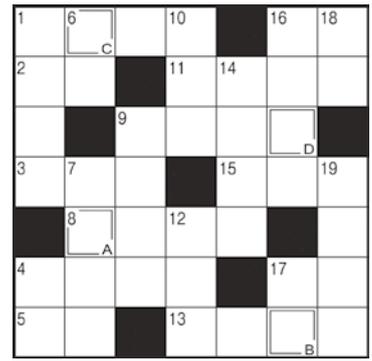
二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

夕テのカギ

1. そんなの簡単さ、——前だよ
4. 6月ごろの長雨のこと
6. 東京と北京では1時間、東京とモスクワなら6時間
7. ラブレターです
9. 漢字で書くと金糸雀。美しい声で鳴く小鳥です
10. 学級——の進行で学級会が行われた
12. 下仁田ネギや水沢うどん知られる県
14. ——は210円、往復で420円です
16. ホッキョクグマの別名です
17. 黒、赤玉、鹿沼といえは
18. 停留所に止まりながら客を運びます
19. 宴会によく使われる飲食店

夕コのカギ

1. 初夏にピンクや紫色の花を咲かせます
2. パンダの餌になる植物
3. 相撲取りのリングネーム
4. 煮た小豆に砂糖を混ぜて作ります
5. 那須与一はこれの名手
8. 出口の反対語
9. 湖などの水を取り除いて陸地にすること
11. ギリシャ神話の登場人物。鳥の羽根をろうで固めて翼を作り、空を飛びました
13. 臼でひいて粉にした茶
15. 入院した友人のお——に行った
16. 『桃太郎』でおじいさんが刈りに行った物
17. 刀の手で持つ部分



のんき家族

しオナルド★いも



10名様にプレゼント 宮崎牛・みやざき和牛消費券 3000円分

応募方法・締切

下記の要領で**6月22日(月)**
(当日消印有効)までにお送りください。
当選者発表は8月号です。

※ご応募に際して取得した個人情報はこのたびのプレゼントの抽選・発送以外には一切使用しません。また承諾なく第三者に提供しません。但し、コメントに関しては「WELCOME JA」に掲載させていただく場合がありますので、ご了承下さい。

63 〒880-0813

めぐみ6月号係
宮崎市丸島町1番17号
JA宮崎中央

- ①クイズの答え
〇〇〇〇
- ②〒・住所・氏名(匿名の場合はペンネームも)・年齢・電話番号
- ③JAだより「めぐみ」やJA、農業に対するメッセージ、日常のこぼれ話、イラストなど(必ず書いてくださいね!)

4月号の答え「ホテルイカ」

※当選者の発表は誌面にて行います。なお公正を期するため本名での発表とさせていただきますので、ご応募の際は了解下さい。



4月号のプレゼント 宮崎のお茶巡り

赤松みどりさん
今岡真紀子さん
河野 陽子さん
黒岩ゆりえさん
永富きぬよさん

浜田 重徳さん
日高伊津子さん
日高 正明さん
森本 裕子さん
矢野 詩織さん

おめでとうございます。今月の応募は79通でした。

お便りはこちら

あなたのお便り、情報をお待ちしています。私たちの地域でこんなことがある、こんな珍しい物がとれた! また、「めぐみ」で取りあげてほしいコーナーなど、ご意見・ご要望等も、どしどしお寄せください。お待ちしております!

〒880-0813 宮崎市丸島町1番17号 JA宮崎中央 本店
JAだより「めぐみ」係
TEL.20-1001 FAX.20-1436

投稿に際して取得した個人情報は、承諾なく第三者に提供しません。

Welcome JA

～読者からのお便り～



4月号のご感想ありがとうございます。お便りをご紹介します！

ス イートピー「ブルーフレグランス」の花のこと初めて知りました。一度「香り」を嗅いでみたいですね。多くの生産者さんが育てて、宮崎でもお花屋さんで見かけるようになるといいと思います。頑張ってください。

(佐土原町 太田さん)

コ ロナ、コロナで楽しみの花達も咲き誇った季節に自粛でちよっぴり淋しく見えるのは私だけでしょうか。飲み会はできないけれど家族だけでも庭先の花見もステキな時間です。

(宮崎市 伊津野さん)

林 卒業式、入学式、花見も盛大にできなかったのも、花も見てもう淋しいかたかもしれませんね…。ご自宅に花を飾って、みんなの花を楽しみましょう！



…花ごよみのひまわりを我が家で飾ってみました

ほ びすのわ「記事の田野支店の活動を知り心がほっとしました。種まきから出来上がった大根は組合員さんにあげられたとのこと。少々ながらも手のいる仕事ですねー。かわいいーやじろもほえましいー。

(宮崎市 ミエちゃんさん)

林 田野支店職員が種から大根を育て、それを干し大根にする活動です。今年初めての取組みだったようですが、大根も育ち、ミニ大根やぐらも作りかなり本格的なものでした。私自身も聞いて見てびっくり、面白い取組みだと思いました！

プリエール宮崎からのお知らせ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けての取り組み

プリエール宮崎をご利用いただく大切なお客様へ

4月16日に政府によって発表された特別措置法に基づく緊急事態宣言の全国拡大を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けての取り組みをこれまでより一層強化しお客様に安心してご利用いただける齋場づくりを目指します。

「三密」の解消に向けて

「密閉・密集・密接」いわゆる三密を防ぐ工夫

①館内換気の徹底

②通夜参列の二部化・座席間隔拡張

通夜の参列を「ご遺族ご親族」と「一般のお客様」とに時間帯を分けてご案内しております。読経などはご遺族ご親族のみで執り行い、その後一般のお客様は受付やお参りにお進みになり、準備したペットボトル飲料をお持ち帰り頂く流れを設け、参列者が館内に長く留まらないようご協力をお願いしております。また式場内の座席の間隔を大幅に広げ密接や接触のリスクを減らす工夫を行い、会食の席は対面配置を避けてエチケットに配慮しながらお食事を提供いたしております。

衛生面での対応

ご利用のお客様やご家族・従業員への感染予防

①マスク着用（常時）の励行

②手指・備品消毒の徹底

全齋場入口に自動の手指消毒器を設置し入館直後からの感染リスクを減らしています。親族控室など各所に消毒スプレーを常備し直接触れる機会の多い備品の安全性を高め、お客様はもちろん大切なご家族、従業員への衛生面の対応も充実させています。

**私達は最大限の努力と工夫で
感染拡大防止に取り組み
お客様へ安心を提供します**

臨時理事会

令和2年4月28日(火) JAAZM大ホール

- 1 理事の報酬について
- 2 (株)ジェイエイ福祉、(株)アグリプラス、(有)ジェイエイファームみやざき中央の監査役の選任について
- 3 業務報告書及び連結業務報告書について
- 4 農産物検査業務規程の一部変更について
- 5 コア花ヶ島営農経済事務所の移転整備計画について

以上5議案が、可決・決定及び承認されました。

人事異動 (かっこ内は旧部署)

【人事異動】令和2年4月23日付

前田 理恵 高岡支店 融資課 融資係(育児休業)

令和2年5月7日付

伊藤 瞳 住吉支店 金融課 貯金為替係(育児休業)

お知らせ

J A宮崎中央では、4月下旬、正組合員、年金友の会、青年部、女性部のみなさまへマスクを配布いたしました。J A職員1人1人が心を込めてご自宅にお届けしましたが、接触を避けるためポストに入れるなどの対応を取らせていただきました。マスクとともに文書も封入させていただいておりましたが、本誌で改めてお知らせ致しました。

少量ではございますが、ぜひご活用ください。

事務所へのお便りや職員に直接声を掛けて頂くなど、感謝の声が多数届いております。お礼申し上げますとともに、これからもJ A宮崎中央では地域のみなさまに寄り添える活動を目指して参ります。

編集後記

J Aのイベントも開催できず「はびす」とみなさまがお会いできる機会もありません…。

和も例年、小学生の田植えや保育園児によるピーマン4人種体験取材があります。早くマスクの無い、笑顔の写真がたくさん撮れることを願っています! (株)



JA宅建情報プラザ

不動産売買のご相談から賃貸のご案内、不動産の有効活用までお気軽にご相談ください

- 賃貸物件のご紹介
- 土地・建物の売買仲介
- 土地・建物の賃貸仲介
- 宅地分譲

お問い合わせ
宮崎市清武町加納4丁目1番地(加納支店隣)
TEL 0985-85-6071
FAX 0985-85-6072
営業時間 8:30~17:30

JA情報宅建プラザ
「取り扱い物件」はこちらから→
お手持ちの携帯電話から、いつでもどこでも簡単に物件が調べられます。



交通事故はJA共済(交通事故処理センター)

8:30~17:00まで(平日) ☎ 35-3507

宮崎県夜間・休日事故受付センター

平日/17:00~
土日・祝・祭日/ ☎ 0120-258931

ジコハクミアイ

カード紛失時連絡先

キャッシュカードの紛失 17:00~翌8:00(平日) 8:00~翌8:00(土・日・祝)
☎ 0120-646-106 ※上記時間以外はお取引店舗までご連絡ください

JAカードの紛失 24時間受付・年中無休
☎ 0120-159674



宮崎の農産物をお届け!

宮崎てげうま産直便

農畜産品を生産者や生産地の情報に合わせてダイレクトにお届けします。

JA宮崎中央
みやざき中央農産物ファン拡大事業委員会
URL : <http://shop.ja-direct.net/>



わちどんが村 式部の里

各種イベント情報などをお届け!!

わちどんが村 式部の里
LINE@はじめました!

QRコードから友だち登録!!



もしものときはお電話を プリエール宮崎

☎ 0120-930-170 (24時間・年中無休)

清武ホール 花ヶ島の杜 佐土原の杜 田野ホール

もしものときの大きな安心

ご葬儀の事前相談

随時受付中




事前相談とは、もしもの時に慌てることのないよう、あらかじめ葬儀についての情報を集め、費用や場所、会葬数などを相談して頂き、ご葬儀の「かたち」を決めておくことです。

ご相談にお越し頂いたお客様へ

記念品を進呈いたします
お気軽にご相談ください

わちどんが村式部の里7周年!!

いつもご利用ありがとうございます

2013年4月24日にオープンしたJA宮崎中央農畜産物直売所「式部の里」は7周年を迎えました。例年、4月には周年祭のイベントを行っていますが、今年は残念ながら新型コロナウイルス拡大防止のため開催できませんでした。

式部の里はみなさまへ新鮮な野菜等を販売できるよう元気に営業しております。また次回イベントを盛大に開催し、みなさまに喜んで頂けることを楽しみにしております！



昨年のイベントの様子



わちどんが村 式部の里

国富町大字嵐田字中須 2434-3

TEL.0985-41-4831

営業時間 9:00 ~ 18:00 (5月7日現在)

この看板が目印!



クラスター(集団感染)
パンデミック(世界的大流行)
オーバーシユート(感染爆発)
ロックダウン(都市封鎖)
テレワーク(在宅勤務) などなど、
コロナウイルスの流行で、
初めて知った言葉です、
最初は甘く見えました、
これまでひどくなるとは、
夢にも思いませんでした、
密閉、密集、密接の3密を、
避けることが、
終息の決め手になるようです、
勿論、マスク、手洗い、
咳エチケット、外出自粛・・・
いろんな規制がかかります、
今は我慢、忍耐、辛抱の時、
見えない敵です、手ごわいです、
おのおの方、
ゆめゆめ、ご油断めされるな!

小中開々

絵と文 山本俊六郎

